

公益財団法人新潟県スポーツ協会
令和3年度第5回理事会議事録
(抄本)

- 1 開催日時 令和4年3月11日(金)午後1時30分
- 2 開催場所 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 大研修室
- 3 理事現在数および定足数 理事現在数24名、定足数13名
- 4 出席者23名
(理事：20名) 馬場潤一郎、木浦正幸、市村輝男、荻荘誠、本間達郎、細貝和司、今西博一、阿部潤、太田玉紀、金子春人、権瓶修也、坂田史安、佐藤文男、関根正明、高塚俊、滝沢一博、本多政則、和歌浦京子、渡部和哉、渡部滋
(監事：2名) 遠藤聡一、大橋直樹、鈴木厚

5 議 事

(1) 報告事項

- ア 第77回国民体育大会冬季大会の結果について
- イ 新潟県社会人スポーツ協議会について
- ウ スポーツ栄光賞表彰について

(2) 審議事項

- 第1号議案 令和4年度事業計画(案)について
- 第2号議案 令和4年度収支予算(案)について
- 第3号議案 令和4年度資産の運用計画について
- 第4号議案 定時評議員会について

6 会議の概要

(1) 議長選出及び定足数の確認

定款第32条及により馬場潤一郎会長が議長に就任。
次に事務局から出席理事の人数の報告を受け、定款第33条に定める定足数を満たしていることから、会議成立を宣し議事に入った。

(2) 議 事

ア 報告事項

報告事項ア

第77回国民体育大会冬季大会の結果について、資料に基づき事務局が説明

したが、質問等はなかった。

報告事項イ

新潟県社会人スポーツ協議会について、資料に基づき事務局が説明したが、質問等はなかった。

報告事項ウ

スポーツ栄光賞表彰について、資料に基づき事務局が説明し、以下の質問等があった。

【理事】

発言：自転車連盟として中井選手に対する「スポーツ栄光賞」表彰について御礼を申しあげる。本人は東京オリンピックでは補欠であったが、受賞功績記載のとおり総合優勝を飾り、今年1月に新潟県からスポーツ賞をもらった。本人も「スポーツ栄光賞」の受賞を大いに喜び感謝している。今後については、パリオリンピック目指すということなので、引き続き応援願いたい。

なお会長から、BMX競技の内容について質問があったことから、理事から詳細な競技説明があった。

【馬場会長】

発言：平野歩夢選手は、過去「スポーツ栄光賞」を2回表彰している。今回も表彰したが、北京オリンピックでは金メダルを獲得したので、それ以上の表彰はないものかと私は思っている。銀メダルとは違う。事務局で、今後検討いただきたいと思っている。

イ 審議事項

- ・第1号議案 令和4年度事業計画（案）
- ・第2号議案 令和4年度収支予算（案）

議長が、第1号議案、第2号議案については、相互に関連があるため、一括審議の可否について諮り、了承された。その後、事務局が資料に基づき以下のとおり提案した。

第1号議案 令和4年度事業計画（案）を説明する。

基本方針として、5項目ある。

1つ目は、将来構想に掲げる重点項目の着実な促進を図るとともに、国の「第3期スポーツ基本計画」及び「新潟県スポーツ推進プラン」を踏まえつつ、令和4年度に10年目を迎える将来構想の今後のあり方等について検討していく。

2つ目は、オリンピックなどで活躍できる選手の継続的な輩出をはじめとした、本県競技水準の向上と障害者も含めたスポーツの普及・振興を推進するため、関係機関・団体等と連携を図っていく。

3つ目は、地域におけるスポーツ推進の仕組みを充実させるため、新潟県広域スポーツセンター事業を中心に総合型地域スポーツクラブの育成を図るとともに、幼児期からの運動遊びやスポーツ少年団の育成を推進する。

また、新たに「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」も実施する。

4つ目は、スポーツ庁が制定した「スポーツガバナンスコード」を踏まえ、コンプライアンスの徹底やガバナンスの強化などクリーンでフェアなスポーツの推進に取り組む。

そして5つ目は、「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の適切な管理運営と、それに通じた競技水準の向上及び健康づくり活動を推進していく。

以上の5項目を基本方針として、令和4年度におきましても引き続き取り組んでいく。

各事業については、A公益事業、B収益事業、C法人事業に分けて事業建てを行っているが、4年度新たに実施する新規事業を中心に説明する。

A 公益事業

I 競技力向上対策事業の推進

2 競技水準向上対策事業を中心に次代を担うジュニア層の育成や、次に記載の事業を通じて、各競技団体や企業における強化活動の支援や優秀なアスリートの県内定着に向けた事業を実施していく。

3 オリピックアスリート夢チャレンジ事業

東京オリンピック終了後においても、次に向けて同規模の予算を確保した。

II 国民体育大会関連事業・業務の推進

栃木県で開催の本大会、青森県・岩手県で開催の冬季大会などへ本県選手団を派遣する。

III 新潟スポーツムーブメントの推進

スポーツ・インテグリティの推進や表彰の実施、加盟団体との連携強化を推進していく。

2 にいがた子どものスポーツ応援プロジェクトの実施

4年度からの新規事業となる。

第4回理事会でお話したが、少子化の進展や運動をする子としない子の二極化、コロナ禍における運動機会の減少など、子どもたちを取り巻く社会的な課題の解決に向け、企業協賛という形のパートナーシップで実施する。本会としてはまったく新しい取組となる。

具体的には、国や県の運動遊び事業を通じて培ったノウハウなどを活かし、

運動・スポーツの楽しさを体験してもらおう「スポーツ体験キャラバン」の実施や啓発活動を展開し、協賛金の拡大に努めつつ徐々に取り組みを拡大させたいと考えている。

3 地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業の実施

この事業についても「新規」としているが、令和3年度の期中において日本スポーツ協会委託事業として同様の事業を実施している。

まだ4年度の委託事業の詳細が示されていないが、関係団体の連絡会議や、休日の運動部活動の地域移行などに関し、地域のスポーツ関係団体や行政等が一堂に会し、情報や課題の共有を図ることを目的とする「地域ミーティング」の開催を計画している。併せて、総合型クラブの登録・認証制度の導入に伴う業務を実施する。

V 広域スポーツセンターの運営等

新潟県からセンターの業務委託を受け、総合型地域スポーツクラブの育成やスポーツによる地域活性化の取り組みなどの諸事業を実施していく。

3 クラブアドバイザー等配置事業の実施

新規事業で、これまでも総合型クラブの育成・支援を図るクラブアドバイザーを配置してきたが、4年度からは同業務に加え、新たに中間支援組織の業務を兼ねることができるようになり、新規で1名を申請中。

VII 交流人口拡大合宿等誘致推進事業

新規事業で、スポーツ合宿、大会等を活用し県内スポーツ人口の拡大と大会招致により、大学等との連携や競技団体の企画・運営等のマネジメント力の強化、大会運営のスキルアップを図っていく。

VIII スポーツ少年団の育成

3年度に開催した「スポーツ少年団経営検討会議」からの『提案』や「スポーツ少年団改革プラン2022」を踏まえ記載の諸事業を実施していく。

特に、4年度においては、コロナ禍により3年連続で中止となっている全国スポーツ少年団剣道交流大会を令和5年3月に謙信公武道館で開催する。

また、先ほどご説明した「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」と連携した活動も推進していく。

IX 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの管理運営

指定管理者として、施設を適切に管理運営するとともに、医学的サポートを背景にした体力測定・動作分析による科学的なトレーニング指導により本県の競技水準の向上及び健康づくり活動を支援していく。

各事業の内容については、記載のとおり。

B 収益事業

健康づくり・スポーツ医科学センターの施設貸出しのうち、公益目的に該当しない研修室の貸出し事業が該当する。

C 法人事業

法人の運営などをするための事業で、評議員会・理事会などを開催するほか、加盟団体との連携強化を図るために加盟団体連携会議、ゴルフ大会、新年会を開催していく。

以上で第1号議案 令和4年度事業計画（案）の説明を終わり、続いて第2号議案 令和4年度収支予算（案）について説明する。

公益財団法人として予算書は、公益目的事業会計、収益事業会計、法人会計の損益ベースでの予算書であるが、これだとそれぞれの事業の予算、前年度との比較増減がわからないため、資金収支ベースの予算で説明する。

前年度との比較をした収支予算。事業の内容については、さきほど事業計画書でご説明しているのですが、ここでは、前年度と大きな増減（100万円前後）がある主な内容について説明する。

I 事業活動収支の部

1 事業活動収入

(5) 受託金収入 ① 県受託金収入

398,924千円で3,391千円の増額で、各事業費で増減があるが、主な内容は競技水準向上対策運営費が、1,494千円の減額、新規事業の競技団体交流促進支援事業費が6,050千円の増額。

② JSP0受託金収入

17,952千円で、15,973千円の増額。

第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会事業費が14,572千円、新規の地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業費が1,600千円、それぞれ増額。

(8) 助成金収入 ② スポーツ振興くじ助成金収入

4,429千円の増額は、新規のクラブアドバイザー等配置事業費の増額によるもの。

(11) 寄附金収入

760千円で4,500千円の減額は、今年度あった第四北越銀行様の寄付金が、来年度は予定がないことによるもの。

(13) 協賛金収入

5,500千円の増額は、新規の子どものスポーツ応援プロジェクト事業の企業からの賛金を見込んだもの。

2 事業活動支出

収入で説明した、増減額の内容が支出額の増減額に関係している。

- (1) 競技力向上対策費支出 ① 競技水準向上対策運営費支出
32,160千円で、1,544千円の減額は、派遣職員の人件費の減額によるもの。
- (3) 新潟スポーツムーブメント推進事業費支出
① 新潟スポーツムーブメント推進費事業費支出
1,986千円で4,460千円の減額。第四北越銀行様の寄付金で実施した「地域における青少年スポーツ活動支援事業費」減額によるもの。
② にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト費事業費支出
5,500千円の増額は、協賛金による新規事業費の増額によるもの。
③ 地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業費支出
1,600千円の増額は、新規事業費の増額によるもの。
- (5) 広域スポーツセンター運営等事業費支出
① 広域スポーツセンター運営事業費支出
14,271千円で、3,325千円の減額は、事業費（クラブ経営サポート事業費）の減額及び②幼児期からの運動習慣アップ支援事業費の科目を新たに設けたことに伴う減額。
③ クラブアドバイザー等配置事業費支出
4,922千円の増額は、スポーツ振興くじ助成金によるクラブアドバイザー配置事業費の増額によるもの。
- (7) 交流人口拡大合宿等誘致推進事業費支出
① 競技団体交流促進支援事業費支出
6,050千円の増額は、県受託金による新規事業費の増額によるもの。
- (8) 事業費支出 ②スポーツ少年団育成事業費支出
29,274千円で、15,234円の増額は、全国スポーツ少年団剣道交流大会事業費の増額によるもの。
③ 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター事業費支出
185,006千円で、1,213千円の減額は、清掃委託料及び医療事務派遣委託料等の増額によるもの。
- (9) 管理費支出
26,025千円で、2,778千円の増額になり、超過勤務手当など人件費及び事業活動包括保険料の増額によるもの。

II 投資活動収支の部

1 投資活動収入

- (1) 特定資産取崩収入 ① 事業安定化積立金取崩収入
3,531千円の増額は、積立金の一部を取り崩し、運営費等に充当する。

次に、資金調達及び設備投資の見込みは、ご覧のように、借入及び設備投資

の予定はない。

以上、第2号議案 令和4年度収支予算について説明した。

議長が、質問、意見等の有無を尋ねたところ、以下の質問があり説明し了解された。その後、第1号議案、第2号議案について議長が諮った結果、満場一致により原案どおり承認された。

また、議長が両議案とも、原案のまま令和4年3月25日に開催する臨時評議員会に提案することを報告した。

【理事】

質問：第1号議案令和4年度事業計画の12ページに、ガバナンスコードの遵守状況について定期的に公表していく。という記述があるが、今年度も公表したのか確認したい。

説明：ガバナンスコードの遵守状況については、日本スポーツ協会から年1回の自己説明・公表を求められており、令和2年度については、3月の年度末に自己説明・公表をした。

今年度については、先程も専務理事から説明いたしました。クラブアドバイザー事業について、令和4年度に日本スポーツ振興センターから助成を受けたいと考えておりますが、その場合、申請手続き上、令和3年10月末までに、ガバナンスコードの遵守状況に関する自己説明・公表を求められたことから、今年度については、10月末に自己説明・公表を行った。

なお、次年度以降もクラブアドバイザー事業の助成を受ける場合には、今年度と同様10月末までに、ガバナンスコードの遵守状況に関する自己説明・公表を行うことになると考えてる。 (事務局)

・第3号議案

令和4年度資産の運用計画について、資料に基づき事務局が次の事項について提案し、意見・質問等はなく満場一致により原案どおり承認された。

基本財産26,900千円は定期預金で運用する。

運用財産のうちスポーツ振興基金積立資産461,283千円は、円建て外債、地方債などで運用する。円建て外債3本は、予算作成時2月中旬の為替115円で積算した。なお、フィンランド金融公社、ドイツ復興銀行の金利は上限金利となっている。スポーツ振興基金全体の運用利率は2.71%となっている。

基金運用リスク対策積立金、事業安定化積立金、青少年スポーツ育成事業積立金、退職給付引当資産は、定期預金で運用する。

基本財産26,900千円、運用財産603,166千円を合わせて合計630,066千円の運用益は12,512円の運用見込み。

・第4号議案

定時評議員会について、資料に基づき事務局が提案し、意見・質問等はなく満場一致により原案どおり承認された。

7 その他

【事務局】

(1) 新潟県の令和4年度組織改正について

県の組織改正に関して、スポーツ課の所管が「観光文化スポーツ部」となること等について説明した。

(2) 令和4年度の理事会開催日程について

第1回及び第2回理事会の開催日程や本会の主要行事日程について説明した。

その後、議事を終了する旨宣言し、議長を退任した。

8 閉会

午後2時39分

以上この議事録が正確であることを証するため、出席した副会長（議長）及び監事は記名押印する。

令和4年 3月11日

会 長（議長） 馬場 潤一郎

監 事 遠藤 聡一

監 事 大橋 直樹

監 事 鈴木 厚